

■九州朝日放送番組審議会議事概要（11月分）

第608回	九州朝日放送番組審議会 議事概要
開催年月日	平成30年11月19日(月) 午後3時30分～4時50分
開催場所	九州朝日放送 本社役員会議室
出席者	<p>委員総数 8名 出席委員数 7名</p> <p><b>(出席委員)</b> 池田 勝 副委員長 赤木 由美 委員 鶴 利絵 委員 井手 雅春 委員 安恒 万記 委員 戸田 康一郎 委員 守田 有理子 委員</p> <p><b>(放送事業者側出席者名)</b> 代表取締役社長 和氣 靖 取締役 笹栗 哲朗 取締役総合編成局長 森 君夫 報道局長 臼井 賢一郎 ラジオ局長 穴井 建一 コンテンツ局長 佐伯 拓史 コンテンツ局制作部長 濱田 克則 コンテンツ局制作部プロデューサー 山田 洋輔</p> <p>番組審議会事務局長兼視聴者・広報室長 井上 千秋 番組審議会事務局員（視聴者・広報室） 松永 俊郎</p>
議題	<p>議題 テレビ番組「サワダデース」 放送日時：9月10日(月)午前10時45分～11時40分</p> <p>報告事項 1. 第87回テレビ朝日系列24社 放送番組審議会委員代表者会議について 2. 第24回PROGRESS賞について 3. 平成30年11月・12月 ラジオ・テレビ番組編成状況 4. 平成30年10月 視聴者・聴取者応答状況 5. 次回 平成31年1月度（第609回）審議会日程 1月21日(月)午後4時00分～開催 ＜課題＞ テレビ番組「前川清の夜もタビ好き」 放送日時：10月13日(土)より11時15分～0時10分 6. その他</p>
議事の概要	<p>◎委員の意見（概要）</p> <p>番組全体の印象について委員からは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○話題を絞り込んだ構成で、よくありがちな情報のテンコ盛り感はなく、何を伝えたいのかが分かりやすい内容だった。</li> <li>○地元密着、地元愛で構成されたことが端々で感じられる、日常生活に欠かせない番組だと思った。</li> <li>○他の情報番組にあるような政治、経済、国際問題を真正面から扱う番組とは少しテイストが異なり、ローカルニュースや地元のお役立ち情報などに特化した番組はリラックスして楽しむことができ、放送時間帯にマッチした番組づくりだと思った。</li> <li>○普段のまじめな気象予報士・佐藤栄作さんとは違う側面を見ることができ、新鮮だった。一方、決して媚びないおすぎさんの平口なコメントが番組を引き締め、そうしたキャスティングが絶妙だと感じた。</li> </ul> <p style="text-align: right;">などの評価を頂きました。</p> <p>また、各コーナーに対して、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「感じてお天気」のコーナーでは、爽やかで好感度の高い財津南美さんがスタジオの外に出て当日の陽気などを話し、お天気とファッションを連動させたコメントもあり、かゆいところに手が届くコーナーだった。一般視聴者の目線に立つよいコーナーだと思った。</li> <li>○「S. I. J.」（すっごくイイ情報）の特集「スプーンで食べるお取り寄せ品評会」で紹介された商品は意表を突いたユニークな商品で、楽しく見ることができた。一方、出演者のコメントは「普通」などの評価が多くしがっかりした。やらせ感のない本気の採点は信頼に値すると感じた。</li> <li>○「S. I. J.」（すっごくイイ情報）の「スプーンで食べるお取り寄せの品評会」では、高評価の商品情報を示すテロップで画面が覆われ、欲しかった情報が得られない場面があった。品評会というからには採点結果だけではなく、食べている途中のコメントなどもしっかり聞きたかった。</li> <li>○「日刊！サワダジャーナル」のコーナーでは、福岡ソフトバンクホークスの話題や地元企業の活躍について触れられ、社会面では当時地元で話題になった低体温症のリスクについて紹介するなど、KBCらしい地元愛に満ちた情報が十分に伝えられていた。一転して芸能の話題では、海外スターのゴシップネタが紹介されていたが、紹介する必要があったのか疑問に感じた。</li> <li>○「日刊！サワダジャーナル」のコーナーで紹介されたJ九州の社名表記に関するエピソードやフリーペーパーの話題は、ちょっとどこかで誰かに話したくなるような得した情報だったと思う。</li> </ul> <p style="text-align: right;">などの評価や意見を頂きました。</p> <p>そして、番組全体で気になる点や望むこととして、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○番組紹介には「ローカルに徹し、福岡の情報を、様々な切り口で、お茶の間に届ける」とあったが、視聴した今回の放送内容からはあまり「福岡ローカル感」は感じられなかった。</li> <li>○番組のタイトルには「サワダ」とあるが、MCのKBC沢田幸二アナウンサーはあまり発言せずに、周りが番組を盛り上げていたという印象を受けた。</li> </ul> <p style="text-align: right;">などの評価や意見を頂きました。</p> <p>これらに対して、制作担当者からは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「S. I. J.」（すっごくイイ情報）では、視聴者が反応するかどうかという点に加え、スタジオがどれだけ盛り上がるかを大事に商品選択している。お店には「本音で評価をさせて頂く」と伝え、一方でお問合わせ先等も十分に紹介することで販売にもつながるよう紹介すると丁寧に交渉をしている。</li> <li>○「サワダデース」はできるだけ視聴者に肩の力を抜いて見てもらいたい番組。報道系のニュースばかりではどうしても片意地を張って見なくてはならないという風になってしまう可能性があり、時には海外スターのゴシップネタなども提供している。</li> <li>○MCの名前がそのまま番組名になっているケースは全国的に見ても実は数少ない。それほどKBC沢田幸二アナウンサーはKBCの顔であり、番組スタッフのみならず視聴者も番組制作にあたっては、「沢田アナウンサーはあまり発言しない」との意見もあったが、ご自身が発言すべきところ、聞き役に回るころは熟知されているので、沢田アナウンサーに一任している。</li> <li>○気負わず楽にご覧いただける番組構成で、他の自社番組ほど視聴率を追求しているわけではないが、結果として昨年度に番組として歴代最高の視聴率を記録したのは、番組制作スタッフの工夫はもちろん、KBC沢田幸二アナウンサーによる部分は非常に大きいと思っている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">などの説明をしました。</p>